甦れ

政和小学校

政和アートFes2018

展示アーティスト

道内アーティストによる作品展示（五十音順）

板本　伸雄（彫刻）
内海　眞治（陶器）
梶田みなみ（彫刻）
小池　暢子（銅版画）
齋藤　由貴（油彩）
佐々木けいし（金工）
佐々木仁美（金工）
佐藤あゆみ（金工）
ｊｏｂｉｎ（インスタレーション）
引山　絵里（絵画）
松田　郁美（金工）
吉成　　茜（黒板アート）
吉成　翔子（金工）
吉成　洋子（ガラス）

触ってみる、作ってみる、
かぶってみる、寝転がってみる……
大自然の中で五感をフルに使って
アートを体験してください

政和アートＦｅｓ実行委員会

実行委員長
吉成　洋子さん　　吉成　翔子さん

政和アートFesのテーマ

幌加内の大自然をキャンバスとして
― 地元で地道に自由な発想で、楽しくおしゃれな空間を演出。
― 手づくりにこだわり、リユースを提案・実行。
― 農業とアートの融合。

今年のメイン開催日は 8/25（土）・26日（日）

8月25日（土）・26日（日）のメイン開催には、ピアノ演奏やギター弾き語り、似顔絵描きなどの特別プログラムが行われます。

体験ワークショップについても紙切り体験（佐藤隆之）、糸紡ぎ体験などのメイン開催特別メニューや、展示参加アーティストによる人気のワークショップなどが追加されます。

人数に限りがありますので、気になる方はお早めにお越し下さい。

今年で7年目となる政和アートFes

政和在住のステンドグラス作家　吉成洋子さん
札幌で鉄を中心として活動する工芸家　吉成翔子さん

母と娘で立ち上げた“政和アートFes”の想いとは…

【幌加内町の観光地の一つとなっている政和アートFes】

吉成（翔）
観光地を訪れる人たちの目的は、非日常を体験することだと思っています。
政和アートFesでは、一般の展覧会などではご法度の「作品に触れる」ということに視点をおき、
訪れた人が見て楽しみ、触れて感じ、聴いて癒される…
そんな空間を提供していきたいと考えています。

【道なき道を切り開いていく原動力】

吉成（洋）
私自身、何十年と政和地区に住み、娘たちも通った学校が平成19年に閉校しました。
閉校という寂しさと、私や娘たちが豊かな政和の自然を感じながら制作した作品達を多くの方に見てもらいたい・・・
そんな、長年考えていた「作品を地元の空気の中で展示をしたい」という気持ちが募り、二人で政和アートFes実行委員会を立ち上げました。
その私たちの考えに賛同してくれた、たくさんのお友達、知り合いの方々。
その協力が、いまの政和アートFesを作っていると感じています。

【「共感」と「共創」による地域プロデュース】

吉成（翔・洋）
幌加内といえば“そば”です。地域資源のそばとアートの融合を考えています。
その1つは、そば殻の活用です。
会場では、そば殻アート、そば枕作りなど体験ワークショップを行っています。
2つ目は、そばの花は見ても綺麗です。
観光資源でもある“白いそばの花畑”と“作品”との融合です。
3つ目は、生産者でもあるので、農業者視点からキャラクターを作り、Fesで展開しています。そば畑を荒らす“ワルジカ”、そば畑をパトロールする“ソーバーマン”、そばの妖精たち“ソバルン”などです。
この町の地域資源とアートの融合で少しでも地域が元気になることが夢ですね。

開催スケジュール

■休館日　■メイン開催日　■新そばまつり連動開催

メイン開催日
8/25（土）・26（日）

8

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

会　　場　雨竜郡幌加内町政和第二
(旧)政和小学校/(現)政和研修センター
主　　催　政和アートFes実行委員会
お問合せ　「アトリエ千の花」吉成
0165-37-2069

最新情報は、政和アートFesのウェブサイトで。
http://seiwa-artfes.moo.jp/